

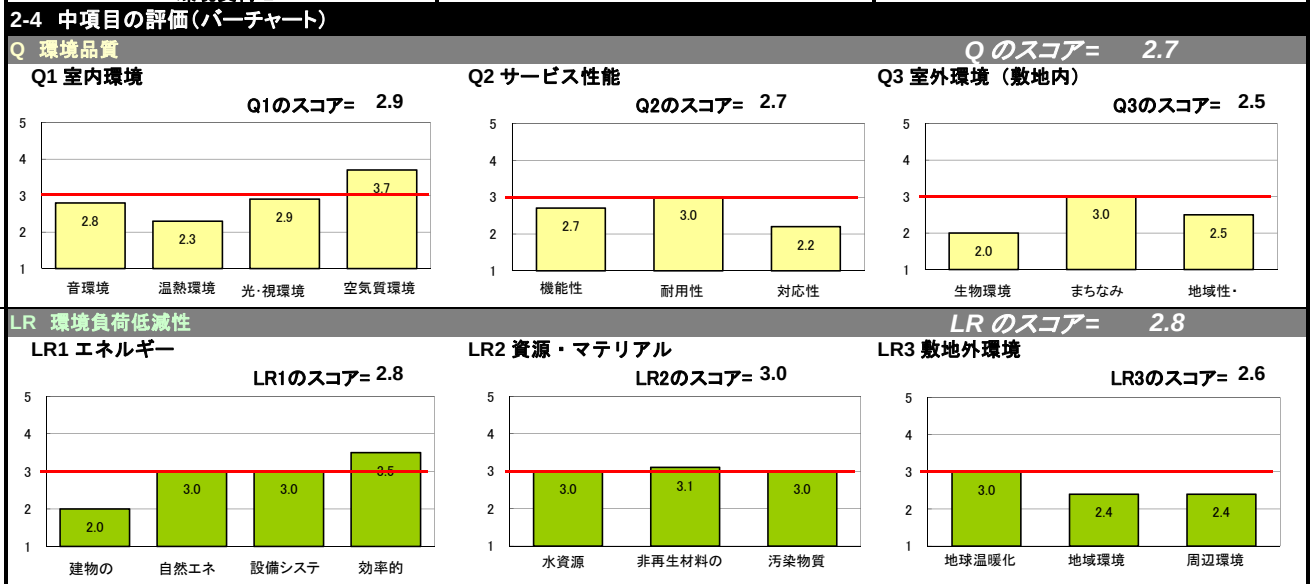
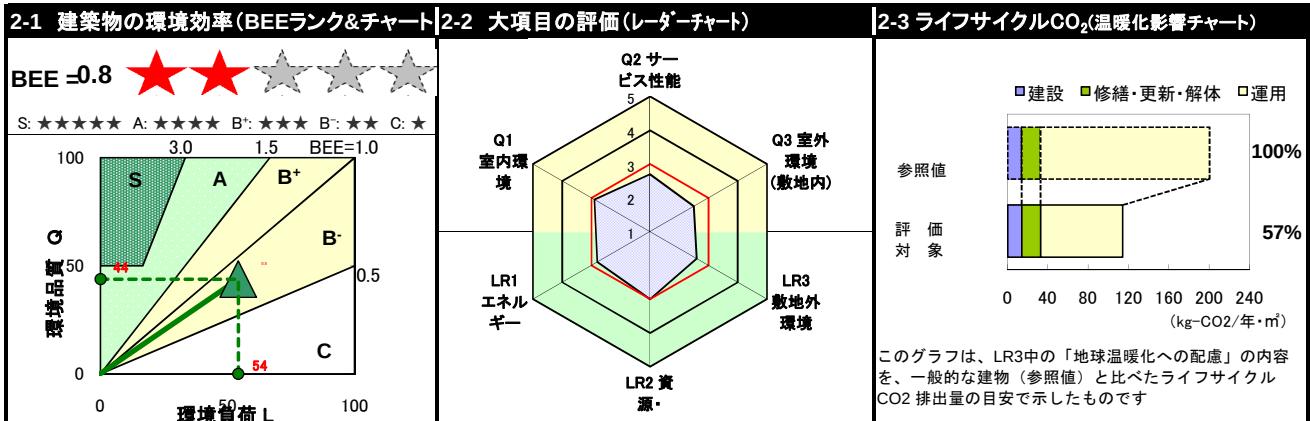


新築[簡易版]

評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-新築(簡易版) 2008年版 | 使用評価ソフト: CASBEE-NCb_2008(v.2.0)

1-1 建物概要			1-2 外観	
建物名称	(仮称)ドーミー百万遍	階数	地上5F	
建設地	京都市左京区田中大堰町150、151	構造	RC造	
用途地域	第1種住居地域	平均居住人員	141 人	
気候区分	地域区分IV	年間使用時間	XXX 時間/年	
建物用途	ホテル、	評価の段階	実施設計段階評価	
竣工年	2010年3月 予定	評価の実施日	2009年5月19日	
敷地面積	1,860 m ²	作成者	株式会社現代総合設計	
建築面積	899 m ²	確認日	2009年5月25日	
延床面積	3,329 m ²	確認者	株式会社現代総合設計	



3 設計上の配慮事項		
総合		その他
景観に調和した色彩、外観計画と極力周囲に建物の配管や設備機器を露出させない計画		0
Q1 室内環境	Q2 サービス性能	Q3 室外環境(敷地内)
共用廊下を屋内にし各客室の廊下側の壁への断熱効果向上に配慮。 外部側の壁には断熱折返しを実施し構造熱橋への配慮も行っている。	バリアフリーに配慮。	道路に接する部分には極力植栽を配置し周囲への景観に配慮するとともに 北側には十分な空スペースを確保して周囲に配慮。
LR1 エネルギー	LR2 資源・マテリアル	LR3 敷地外環境
標準的な配慮を実施。	極力有害物質を避け、環境に配慮している。	寄宿舍ということもあり、屋外に対しての騒音、照明は必要最低限にとどめている。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Building Environmental Efficiency (建築物総合環境性能評価システム)

■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Building Environmental Efficiency (建築物の環境効率)

■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと

■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される